

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(水道)水道メーター改造事業			
予算科目	1 款 1 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	水道課	電話番号(内線):	713
記入者情報	所属長:	隅田 英久	担当責任者:	堀内 英幸
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民(上水道加入者)			
根拠法令等	計量法			
事業の目的	計量法で定められている検定満期(8年)に伴う取替に必要な水道メーターを引上改造を行なう。			
事業の内容	計量法で定められている検定満期(8年)に対応する水道メーターを確保するために、引上メーターを改造修理して、再使用可能な状態にする。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算
事業費	直接事業費	1,427	2,054	1,028	1,028
	人件費	1,199	488	488	488
	合計	0	2,542	1,516	1,516
人件費 内訳	人工数	0.15	0.06	0.06	0.06
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,199	488	488	488
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,626	2,542	1,516	1,516

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	24年度実績	25年度予定	9月末の実績	25年度実績
改造修理個数	個	1423	1282	1274	1274
事業費	千円	1427	2054	1028	1028

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	5年間の実績
		1,500	1,500	1,500	0	

成果指標				
成果指標	実績数値のみを記載する。			
指標設定の考え方	回収された水道メーターの改造費であり、個数は検定満期より限られているので、成果指標の設定は困難である。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	1406	1282	0	0
実 績	1423	1274	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	5	A
		コスト効率	5	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	今後も可能な限り、引上メーターを改造修理し再使用することにより、交換費の軽減につながるとともに、産業廃棄物量の軽減を図ることができ、事業効果が表れている。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	この事業は、計量法に基づき実施する事業であり必要不可欠なものである。引上げメーターを改造することにより再使用が可能となり、経済面においても有効な手段であると考え。また、改造回数・個数を的確に把握しておくことで、新規メーター購入の抑制に繋がるため、常に台帳管理を行っておく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題